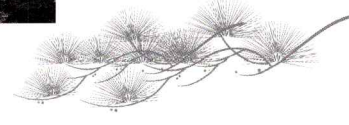


名古屋能楽堂 九月定例公演 (能楽普及公演)



能 葛城(金剛流)

前シテ 里女 葛城明神
後シテ 羽黒山の山伏
ワキ 山伏
ワキツレ 山伏
アイ 里人

笛 竹市 学
小鼓 船戸 昭弘
大鼓 河村眞之介
太鼓 鬼頭 義命

後見 宇高 竜成
宇高 徳成

地謡 平澤由美子
熊谷眞知子
伊藤 雅子
加藤かおる
田中 春奈

仕舞 嵐山(宝生流)

地謡 衣斐 愛
内藤 飛能
衣斐 正宜
平田 正文

仕舞 六浦(金春流)

地謡 廣瀬 雅弘
前田 登
本田 由樹
鬼頭 尚久
矢代 隆夫

仕舞 玉葛(喜多流)

地謡 長田 驍
伊藤 英毅
長田 郷
松井 俊介

狂言 蟹山伏(和泉流)

シテ 山伏 松田 高義
アト 強力 伊藤 泰
アト 蟹ノ精 野村又三郎
後見 藤波 徹

能 舍利(観世流)

前シテ 里人 吉沢 旭
後シテ 足疾鬼 伊藤 裕貴
ツレ 草駄天 飯富 雅介
ワキ 旅僧 今枝 郁雄
アイ 能力

休憩十五分

休憩十五分

(午後五時頃終了予定)
止むを得ず曲目、出演者等が変更になる場合がございます。

能解説「葛城」(かつま)

大和国(奈良県)葛城明神に参詣を志して、羽田国(山形県)羽黒山の山伏が葛城山にやって来ます。
突然の吹雪に悩む山伏一行の前、女が現れ、自らの庵に案内します。
夜寒を凌ぐために、標(しも)を炊く女に、標とは珍しい木だと尋ねると、「しも」と結ぶ葛城山に降る雪は間もなく時を思はゆるかなと大和舞(やまとまじ)の古歌を教えなす。やがて、後夜の修行を始める山伏に「折袴」によって、私を三熱の苦しみから救ってほしいと頼みます。
女は、葛城の神で、吉野へ岩橋を掛けようとする役行者に命じられたが、自らの醜さを恥じて暗い夜に働かなくなったため、橋は完成せず、怒りを持って呪縛された苦しみを語り、夜を消します。夜もすくから葛城の神のために祈禱する山伏の前に、女神が現れ、報酬の舞を舞います。
その後、女神は、姿を恥じて夜が明けると姿を隠すのでした。
山伏修行の道場として昔から修験者を受け入れてきた葛城山(金剛山地)の総称。今は、葛城山ロープウェイで、葛城山上駅へ。
春は「一目万本」と言われる舞紅のツツジの群生。秋は、ススキの黄金パノラマ等、古への神話の舞台は、今もなお多くの人々を魅了しています。
(羽多野良子)

狂言解説「蟹山伏」(かじま)

修験道の聖地・大峯・葛城山(奈良県界隈)での修行を終えた山伏が従者の強力(こうりき)を伴って、故郷出羽・国羽黒山(山形県)への帰路に着きます。道中、山道を進むと俄かに空模様怪しく地鳴り轟き響く中、突然眼前に得体の知れぬ化物(蟹ノ精)が姿を現して進路を塞ぎ阻みます。
私も和泉流山陽派の詞章では「山深い所として、蟹ノ精と遭遇した場所を具体的に特定していませんが、流儀によっては、江州蟹沢(鈴鹿峠土山宿辺り)などの地名が示されています。滋賀県をはじめ福原山や山形県などの各地に今もこの「蟹ノ精」の名が残っており、かつまは険しい山地の時や谷あいでも人淋しげな恐怖心を煽る地帯であった事が伺える代名詞と見受けられます。
蟹ノ精には「買徳(げんとく)」という面を起用し、馬や牛といった動物や動植物の精霊など人間以外の役柄に幅広く用いられます。上目づかいの滑稽かつ異形にも見える面を使用し、山伏たちを待ち受け威嚇します。山伏が登場する演目は、その多くが大峯・葛城山から羽黒山へと向かう帰路道中に、何事か騒動に発展するという展開で、ほかに「柿山伏」「禰豆山伏」などがあります。(井上松次郎)

能解説「舍利」(じやり)

出雲の僧が都に上り、東山泉湧寺に大唐渡来の十六羅漢や仏舍利を拜もつと訪れます。寺男の案内で舍利を拝みますと、どこからともなく里人がやってくる。一組に舍利を拝みます。そして、仏舍利のありがたい謂れを述べていますが、俄かに空が曇り、稲光を発します。里人が、自分は足疾鬼の執心だと明かすと、顔が変わり鬼の相となります。そして、仏舍利を奪い、天井を蹴破り虚空に飛び去ってしまいます。僧は、物言に駭けつた寺男から、釈迦入滅に際して、足疾鬼が歯を盗んだことと、草駄天が、その歯を取り返した由来を聞き、一入して草駄天に祈ります。
草駄天が現れ、足疾鬼が天上に逃げるのを追いかけて、下界に逃げるのを追いつめ、前後左右塞がった足疾鬼がくるる渦巻くところを、宝棒で打ち伏せ、舍利を取り返します。足疾鬼は力尽き果て、消え失せます。
東山の泉湧寺は御寺(みでら)とも云い、皇室の菩提寺として知られています。舍利殿には牙舍利が容器に納められ、左右に月蓋長者(かつが)が、いちじょうじやと草駄天を従えているといわれます。

「イヤホン・ガイド」

◆能「葛城」
日本語/大山 範子(神戸女子大学古典芸能研究センター非常勤研究員)
英語/藤江さおり(通訳ガイド)
◆能「舍利」
日本語/田崎 未知(能楽研究家・名古屋能楽堂イヤホンガイド)
英語/藤江さおり(通訳ガイド)

九月定例公演事前学習講座
8月13日(土) 14:00~16:00

受講チケット500円
◆能「葛城」「舍利」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。
※事前学習講座のチケットは、名古屋文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

チケット料金(税込み) *前売券発売日 令和4年7月1日(金)

Table with 3 columns: 指定 Reserved (4,200円), 自由 Non reserved (一般 Adult 3,200円, 学生 Student under 25 years old 2,000円)

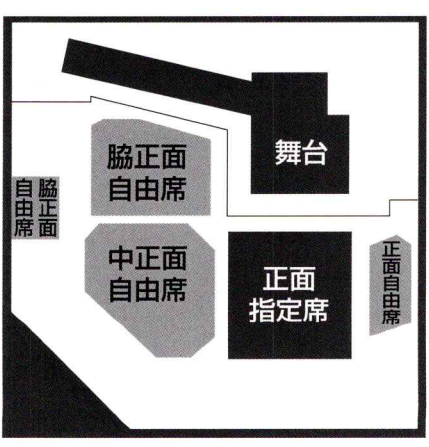
*学生券は25歳以下を対象とします。*未就学児のご入場はお断りいたします。
*チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。
*事業団友の会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は400円引きです。(学生券の割引はありません。)(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ。各割引の併用はできません。)

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂 TEL.052-231-0088
*前売券発売日当日は、お電話が繋がりにくいことがあります。
名古屋文化振興事業団チケットガイド TEL.052-249-9387
(平日9:00~17:00/チケット郵送可)
名古屋文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。
(工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)
チケットぴあ (Pコード512-225)

*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引きます。(名古屋能楽堂取扱いのみ)
Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ/名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



【感染予防への取り組みとお願い】

- ◎感染予防のため、ご来館の際はマスクをご着用ください。マスクを着用でない方の来館はお断りします。
◎入場時の検温にご協力をお願いします。37.5度以上の場合に入場をお断りします。
◎チケットの半券にお名前と連絡先電話番号をご記入ください。ご記入いただきました個人情報、新型コロナウイルス感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されます。一定期間経過後に適切に破棄させていただきます。
◎指定席は間隔を空けた市松模様状に配置しております。自由席はお客様同士が隣り合う場合があります。
◎本公演は名古屋市の「文化施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき実施いたします。ガイドラインに基づいた対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

公演についての最新の情報は名古屋能楽堂ホームページをご覧ください。



https://www.bunka758.or.jp/facility/nougakudo/